

2021年12月期 第1四半期決算説明資料



2021年5月31日
株式会社やまびこ

1. 2021年12月期第1四半期	
決算概要	2
2. 2021年12月期	
業績予想	10
添付資料	
会社概要など	15

1. 2021年12月期第1四半期 決算概要

2021年12月期第1四半期 総括



順調な天候や新型コロナウイルスの感染拡大による在宅時間の増加などを背景に、海外OPEの需要は想定以上に旺盛な状況が継続。国内も政府による経営継続補助金の新たな予算化の追い風を受けて、第1四半期として売上高・利益ともに過去最高を更新。

《セグメント概況》 略称「OPE」= Outdoor Power Equipment

市場	セグメント	一般概況	当社状況 (現地販売)
国内	小型屋外 作業機械 (OPE)	● 順調な天候などを背景に、刈払機の出荷実績は前年を上回った。	
	農業用 管理機械	● 政府による経営継続補助金により防除機等が追い風を受けて、1-3月の農業機械出荷額は前年比6.4%増（日本農業機械工業会）。	
	一般産業用 機械	● 国内需要は3か月連続で減少して、1-3月の建設機械出荷額は前年比3.5%減（日本建設機械工業会）。	
海外	小型屋外 作業機械 (OPE)	● 北米市場：順調な天候や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅時間の増加などにより想定以上に需要は旺盛。	
		● 中南米市場：政情不安・経済問題は継続も、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い市場が回復。	
		● 欧州市場：順調な天候や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅時間の増加などにより想定以上に需要は旺盛。	
	農業用 管理機械	● 北米市場：穀物価格の回復を背景に需要環境が改善。	

2021年12月期第1四半期 経営成績



(百万円)	20/12期 1Q実績	構成比 (%)	21/12期	構成比	前年同期比
			1Q実績	(%)	(%)
売上高	31,871	100.0	38,153	100.0	+ 19.7
売上原価	22,809	71.6	27,801	72.9	+ 21.9
販管費	6,671	20.9	6,885	18.0	+ 3.2
営業利益	2,390	7.5	3,466	9.1	+ 45.0
経常利益	2,295	7.2	3,948	10.3	+ 72.0
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,253	3.9	2,866	7.5	+ 128.6

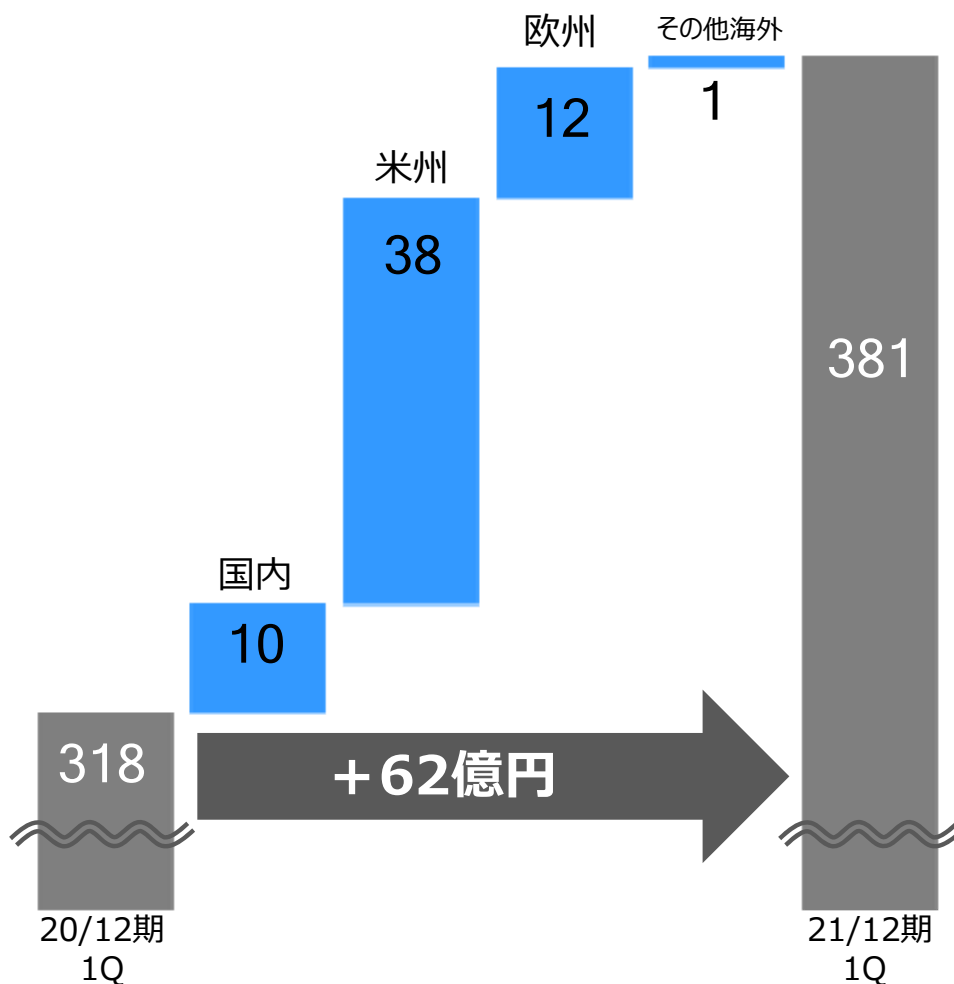
為替レート

1ドル	当社レート	109 円	105 円	▲ 4.0
	米国子会社 換算レート	109 円	106 円	▲ 2.5
1ユーロ		121 円	128 円	+ 5.7

- ✓ 売上高は、国内は産機が低迷するも農機が大幅に伸長したことに加え、OPEも堅調に推移し増収。海外はOPEが米州や欧州を中心に、大幅に増収。
- ✓ OPEや農機の販売が想定以上に伸長したことにより営業利益、経常利益、最終利益ともに前年同四半期と比較して大幅な増益。

連結売上高の増減

(億円)



【国内】

農機が政府の経済対策に伴い防除機が伸長したことに加え、モアや畦草刈機なども好調に推移し増収。

【米州】

OPEが在宅時間の増加に伴い想定以上の旺盛な需要が継続し、チェーンソーや刈払機などの主要製品に加え、アクセサリー販売が伸長して大幅な増収。

【欧州】

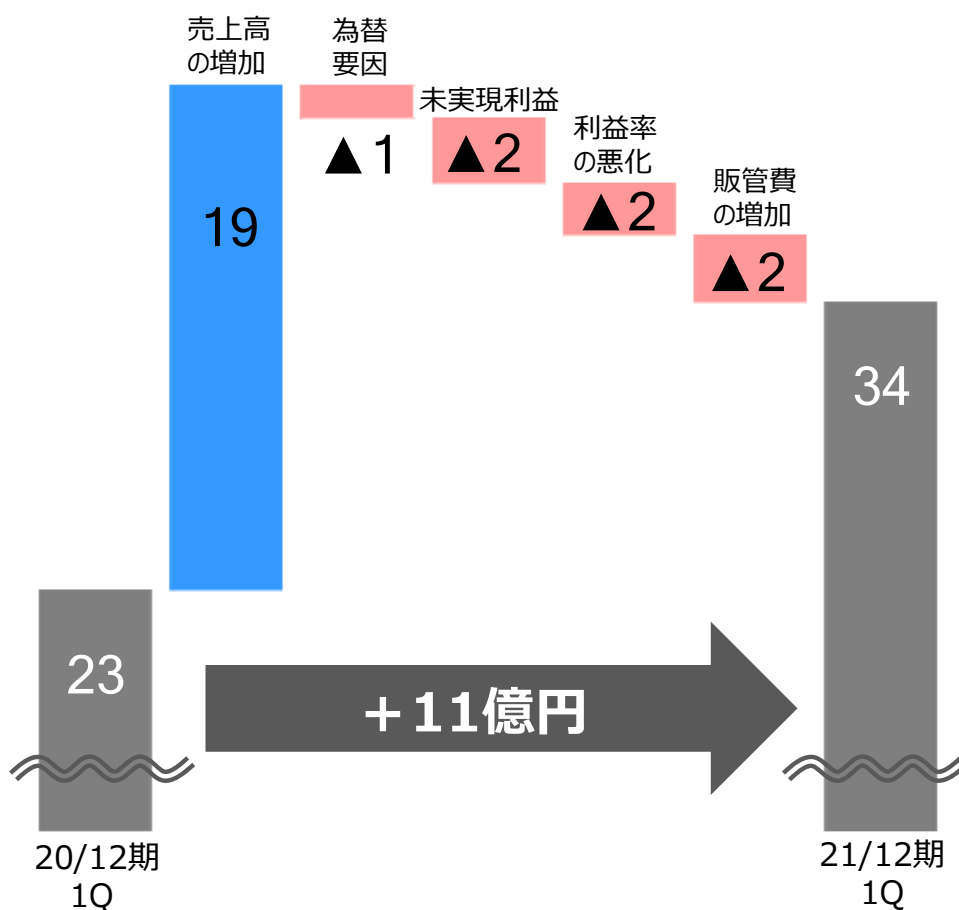
OPEが在宅時間の増加に伴い、想定以上の旺盛な需要により大幅な増収。

【その他海外】

アジアおよびオセアニアで需要回復が見え始めたことにより増収。

連結営業利益の増減

(億円)



【売上高要因】

売上高の増加による利益の増加。

【為替要因】

主に円高ドル安に伴う利益の減少。

【未実現利益】

21年12月期1Q△2.8億円
20年12月期1Q△0.4億円⇒差額△2.4億円

【利益率】

地域別・セグメント別の売上構成の変化による原価率の悪化。

【販売管理費】

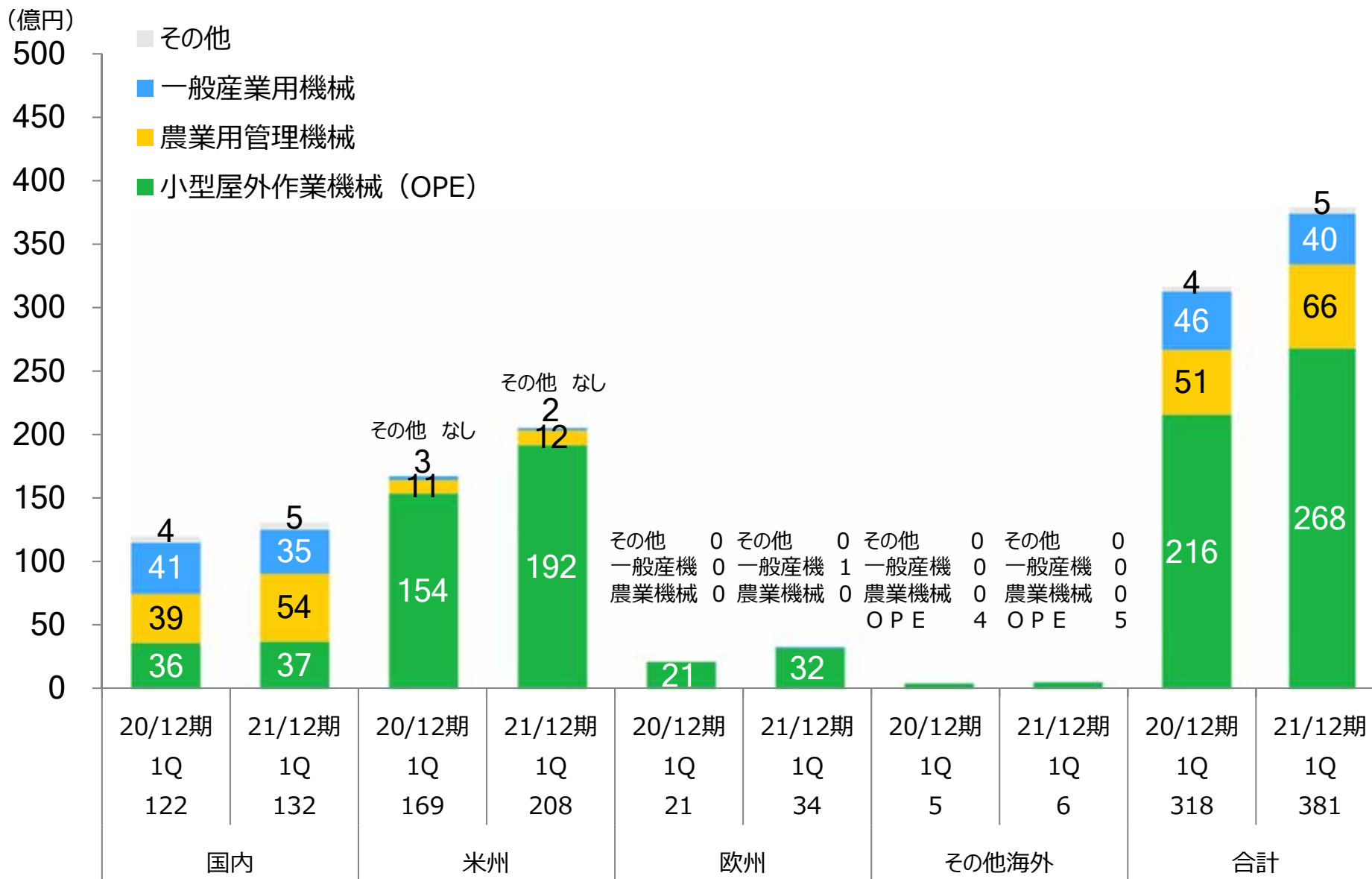
売上の増加に伴う営業費用の増加や、IT管理費用の増加など。

セグメント別経営成績

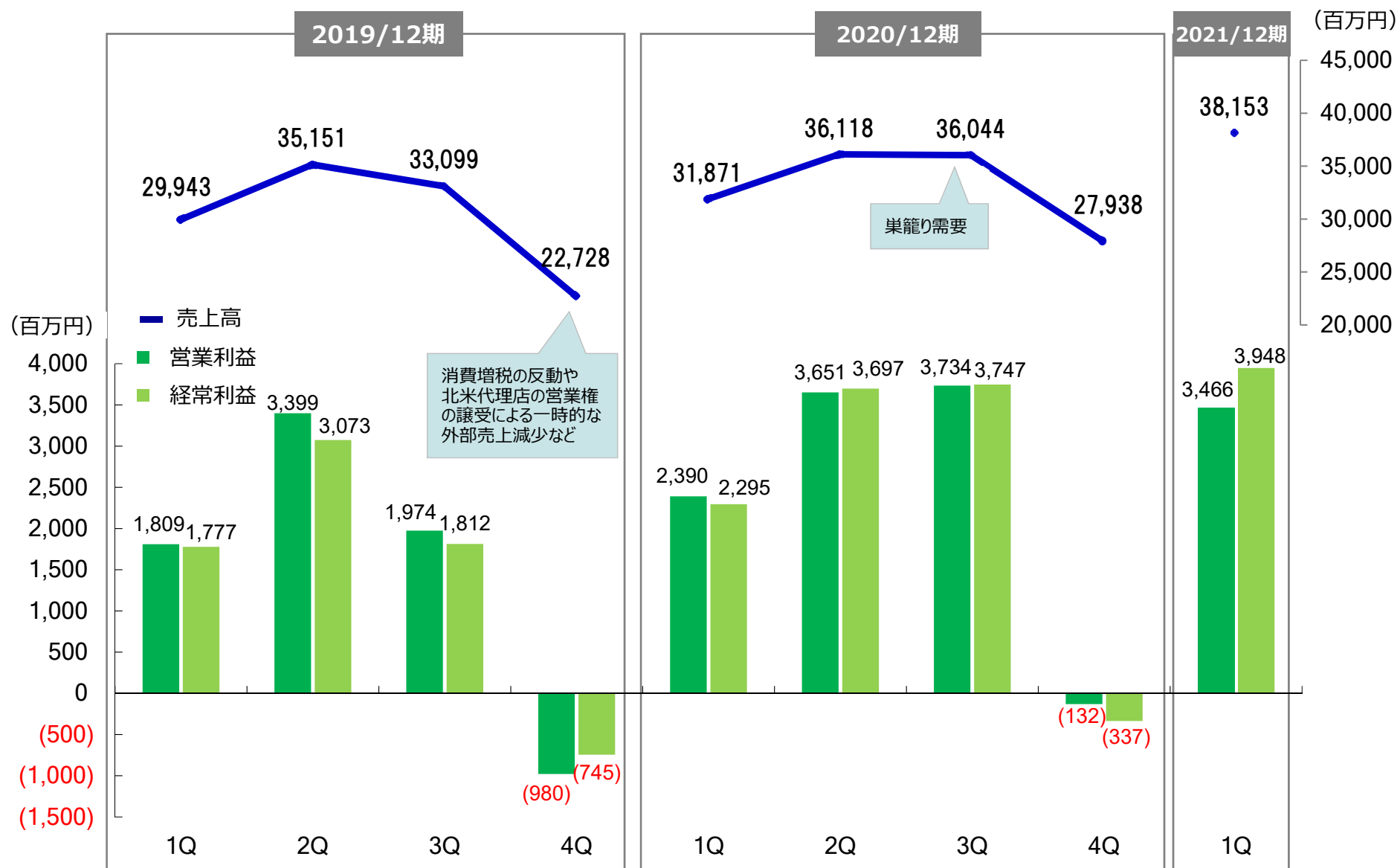


(百万円)	20/12期 1Q実績		21/12期 1Q実績		
		構成比 (%)		構成比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	31,871	100.0	38,153	100.0	+ 19.7
小型屋外作業機械	21,642	67.9	26,858	70.4	+ 24.1
農業用管理機械	5,144	16.1	6,681	17.5	+ 29.9
一般産業用機械	4,647	14.6	4,060	10.6	▲ 12.6
その他	437	1.4	552	1.4	+ 26.3
営業利益	2,390	-	3,466	-	+ 45.0
小型屋外作業機械	3,551	148.6	4,551	131.3	+ 28.1
農業用管理機械	▲ 74	▲ 3.1	111	3.2	-
一般産業用機械	340	14.2	224	6.5	▲ 34.1
その他	66	2.8	116	3.4	+ 76.4
全社共通費	▲ 1,493	-	▲ 1,536	-	-

セグメント別地域別売上高実績



四半期別 業績推移



2. 2021年12月期 業績予想

2021年12月期（通期） 予想



(百万円)	20/12期 実績	構成比 (%)	21/12期 修正予想 5月12日発表	構成比 (%)	前年同期比 (%)	21/12期 当初予想 2月12日発表
売上高	131,972	100.0	134,000	100.0	+ 1.5	128,000
売上原価	94,331	71.5	96,600	72.1	+ 2.3	91,700
販管費	27,997	21.2	29,700	22.2	+ 6.4	29,600
営業利益	9,643	7.3	7,700	5.7	▲ 20.2	6,700
経常利益	9,402	7.1	7,700	5.7	▲ 18.1	6,700
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,635	5.0	5,600	4.2	▲ 15.6	4,800

為替レート

1ドル	当社レート	107 円	105 円	▲ 1.7	105円
	米国子会社 換算レート	107 円	105 円	▲ 1.6	105円
1ユーロ		122 円	120 円	▲ 1.7	120円

- ✓ 売上高は、国内は農機が政府の経済政策により好調だった前年並みに推移すると想定するも、産機がインフラ整備に伴う発電機需要の反動減を予想。海外は主力の北米や欧州のOPEが年央までは想定以上の需要が継続すると期待される。
- ✓ 販売数量の増加に伴う利益の押し上げ効果があるものの、輸送費や国内外の開発投資の増加などにより、前年と比べて営業利益、経常利益、最終利益ともに減益を見込む。

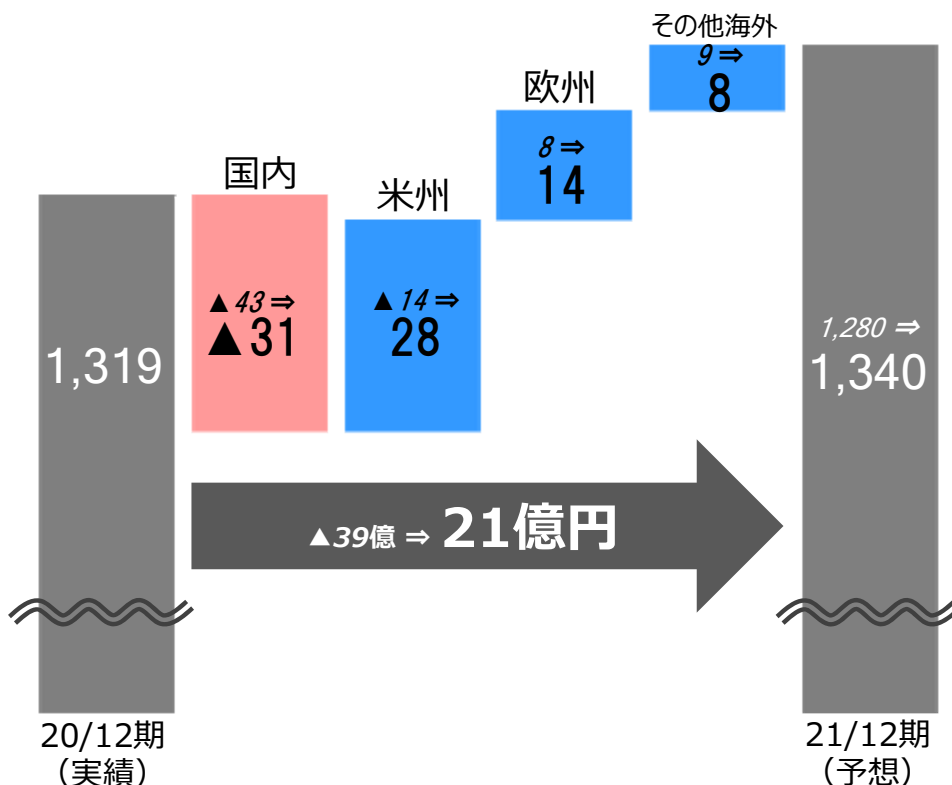
連結売上高の増減（予想）

（凡例）

▲ 43 ⇒ ▲ 31

- 2021年2月12日 業績予想
- 2021年5月12日 業績予想修正

（億円）



【国内】

政府の経済政策効果による押し上げも、好調な前年の反動を見込む。

【米州】

前年からの需要が想定以上になるも、年後半に沈静化。

【欧州】

西欧を中心に高い需要が継続。

【その他海外】

前年の落ち込みからは回復を見込む。

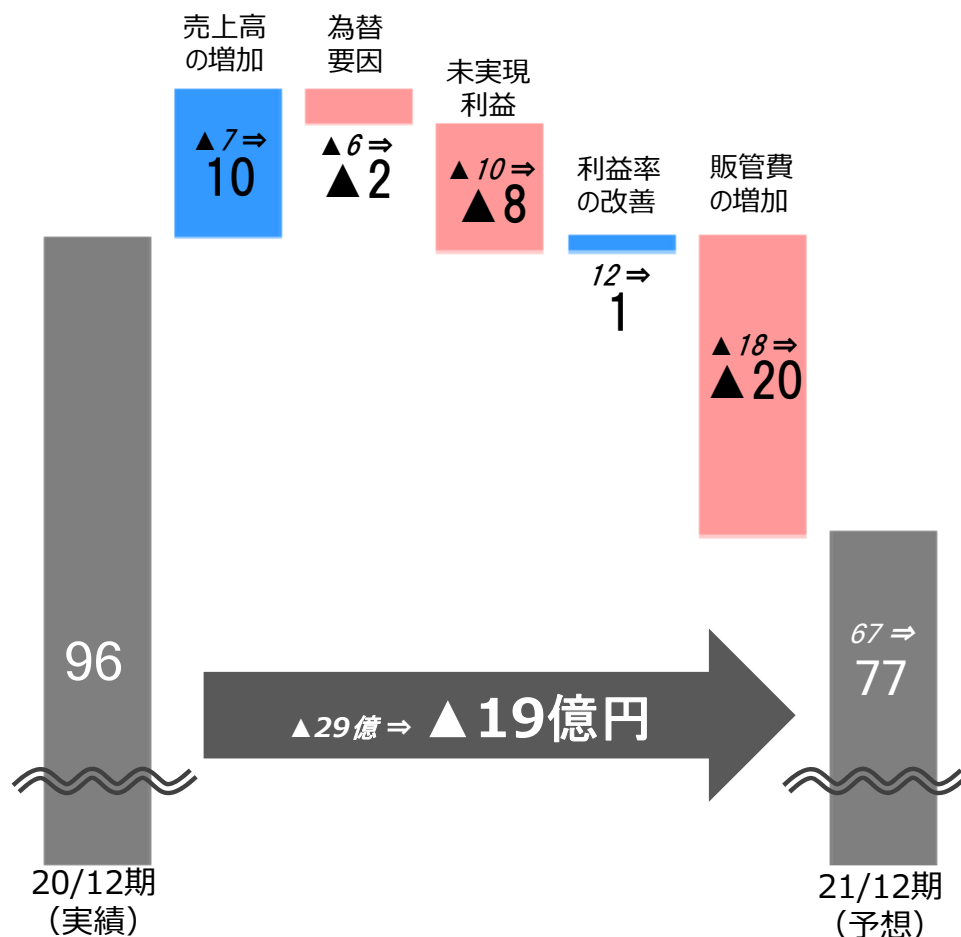
連結営業利益の増減（予想）

（凡例）

▲7⇒10

- 2021年2月12日 業績予想
- 2021年5月12日 業績予想修正

（億円）



【売上高要因】

販売数量の増加に伴う利益の増加。

【為替要因】

主に円高ドル安に伴う利益の減少。

【未実現利益】

21年12月期 △2.5億円
20年12月期 5.9億円 ⇒差額△8.4億円

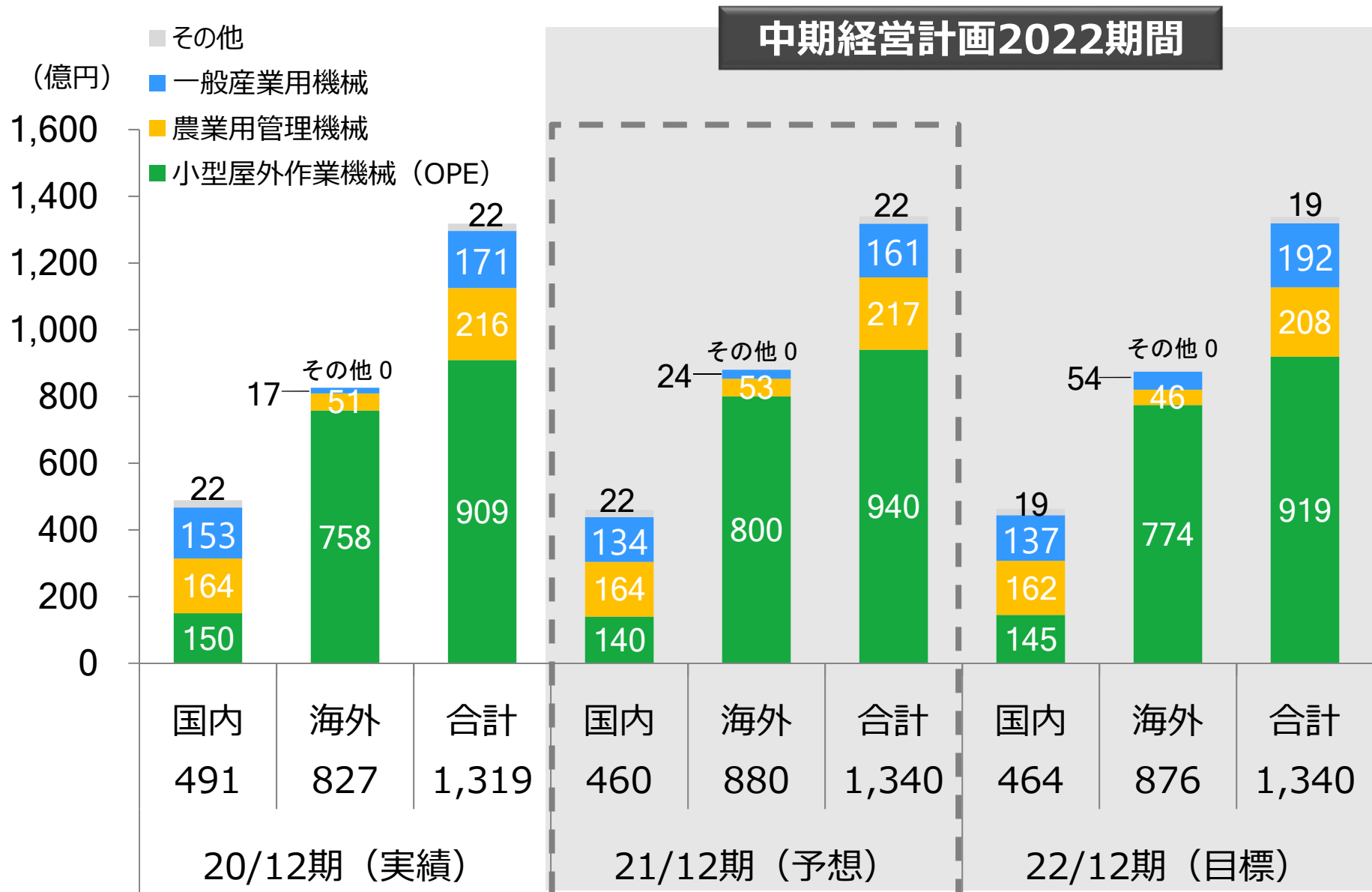
【利益率】

量産効果と原価低減活動による利益率改善。

【販売管理費】

開発投資、ITインフラのセキュリティ強化や販売活動の正常化に伴う費用増加など。

中期経営計画2022目標 セグメント別売上高



添付資料

株式会社やまびこ 会社概要

『やまびこ』の概要



会 社 名	株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION)
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	131,972百万円 (2020年12月期連結)
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	12月31日
連 結 子 会 社 数	15社※ (国内6社・海外9社／2020年12月末現在)
従 業 員 数	3,477名 (2020年12月末現在／連結)
上 場 市 場	東京証券取引所第一部
証 券 コ ー ド	6250
発 行 済 株 式 総 数	44,108,428株 (2020年12月末現在)
単 元 株 式 数	100株

※持分法適用関連会社2社を除いております。

<社名の由来> 山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする。

『やまびこ』の歩み

E 株式会社 共立

1947年 (昭和22年)



世界初となる手持ちブロワに加え、国内初の背負式刈払機やスピードスプレーヤなどを開発

KIORITZ **ECHO**

株式会社やまびこ

2008年 (平成20年)

YAMABIKO

新タイワ工業株式会社

1952年 (昭和27年)



電動チェーンソーを経て、世界初となる混合式4サイクルエンジンやマルチ発電出力などを開発

shindaiwa



2000年代の排出ガス規制強化・業界再編を経て、歴史と実績のある2社が2008年に合併。経営基盤強化とシナジー効果の発揮により、持続的成長を目指して設立

KIORITZ **shindaiwa** **ECHO**

小型屋外作業機械セグメント（主要製品・使用イメージ）



主に「手で持つ」もしくは「背負って」使用する小型エンジンなどを搭載した機械
およびロボット芝刈機の製造販売、
刈払機、チェンソー、パワーブロワ、ヘッジトリマーなど



農業用管理機械セグメント（主要製品・使用イメージ）



乗用管理機



スピードスプレーヤ



国内における防除機械、北米における農作物収穫機械の製造販売
スピードスプレーヤ、ブームスプレーヤ、乗用管理機、畦草刈機、ポテト収穫機など



ポテト収穫機（北米）



畦草刈機

一般産業用機械セグメント（主要製品・使用イメージ）



売上高構成比

13.0%

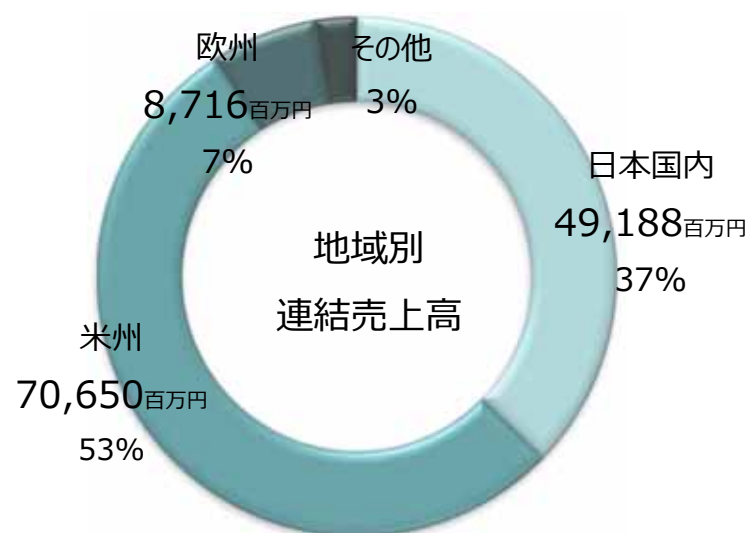
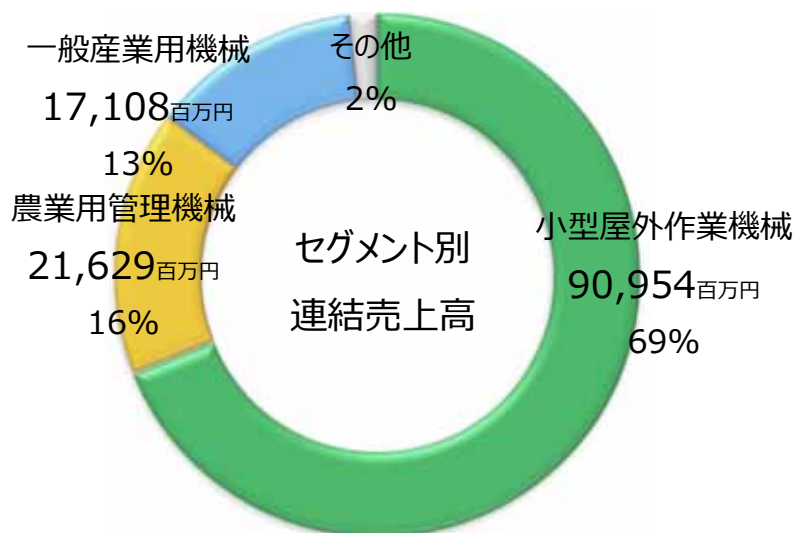
(2020年12月期)



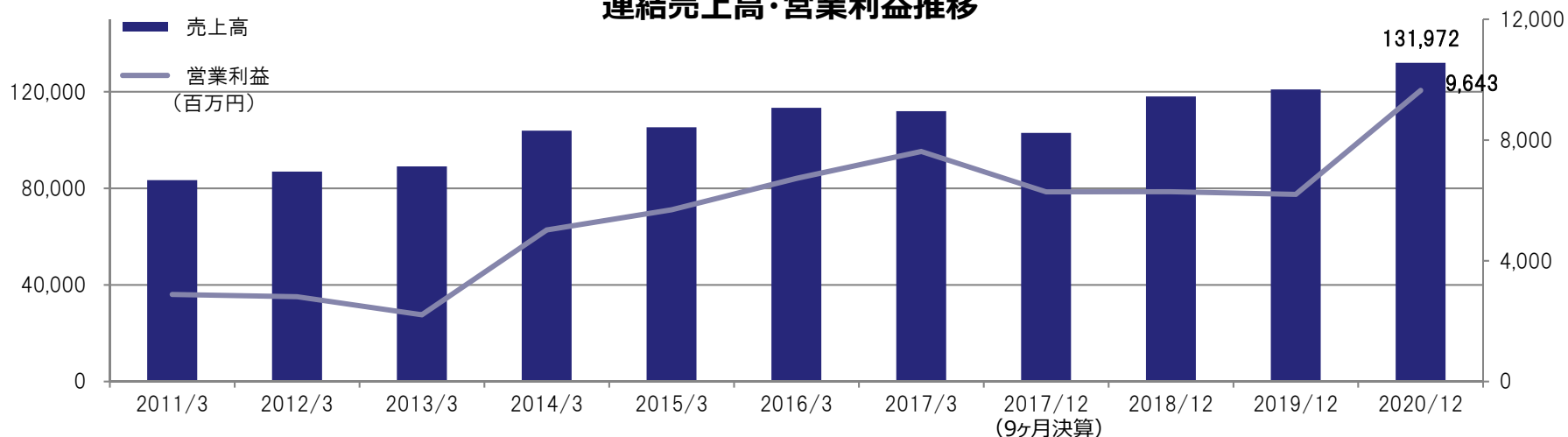
建設工事・国土強靱化・イベント向け機械の製造販売
発電機、溶接機、投光機、切断機、高圧洗浄機など



2020年12月期 連結売上高 131,972百万円

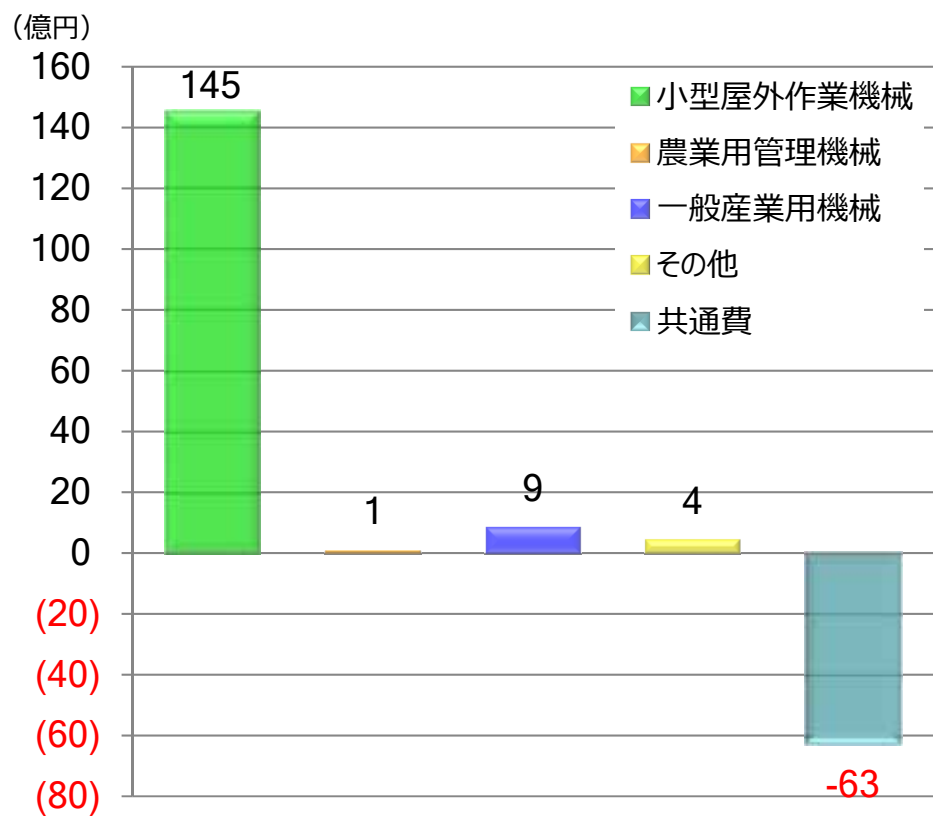


連結売上高・営業利益推移



営業利益構成

2020年12月期 連結営業利益：96億円



補足資料

海外市場における関連指標等



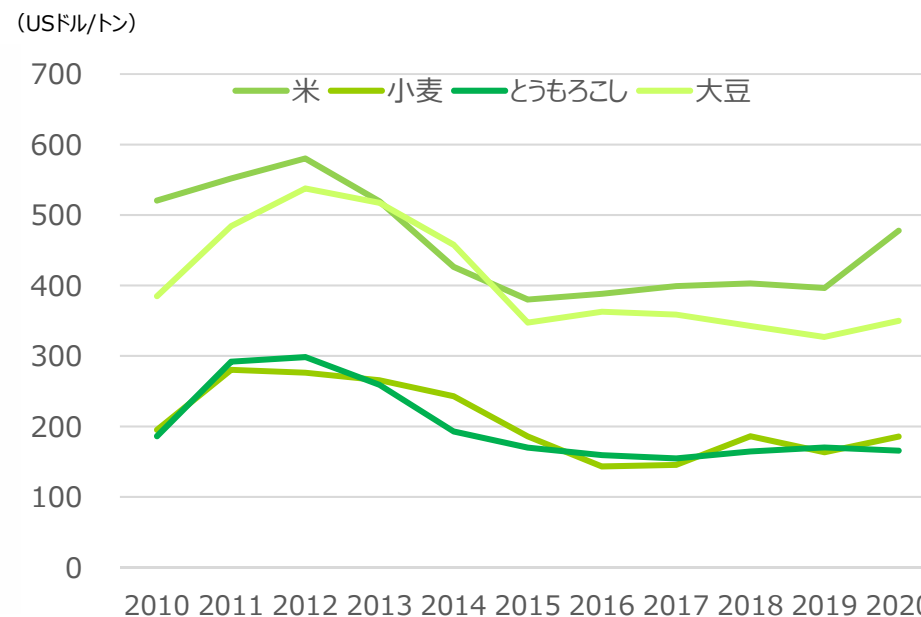
事業	関連指標等
小型屋外作業機械(OPE)	北米：住宅着工件数 等 南米：穀物価格（大豆、トウモロコシ、コーヒー） 等
農業用管理機械	米国：穀物価格（大豆、トウモロコシ） 等

米国住宅着工件数
(季節調整済年率換算値)



U.S.Census Bureau: New Residential Construction

穀物価格



IMF - Primary Commodity Prices

国内市場における関連指標等



事業	関連指標等
小型屋外作業機械 (OPE)	(一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (刈払機)、米価 等
農業用管理機械	(一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (防除機)、米価 等
一般産業用機械	(一社) 日本陸用内燃機関協会 (携帯発電機)、(一社) 日本建設機械工業会出荷金額統計 (その他建設機械)、建設関連業等の動態調査報告、工作機械受注高 等

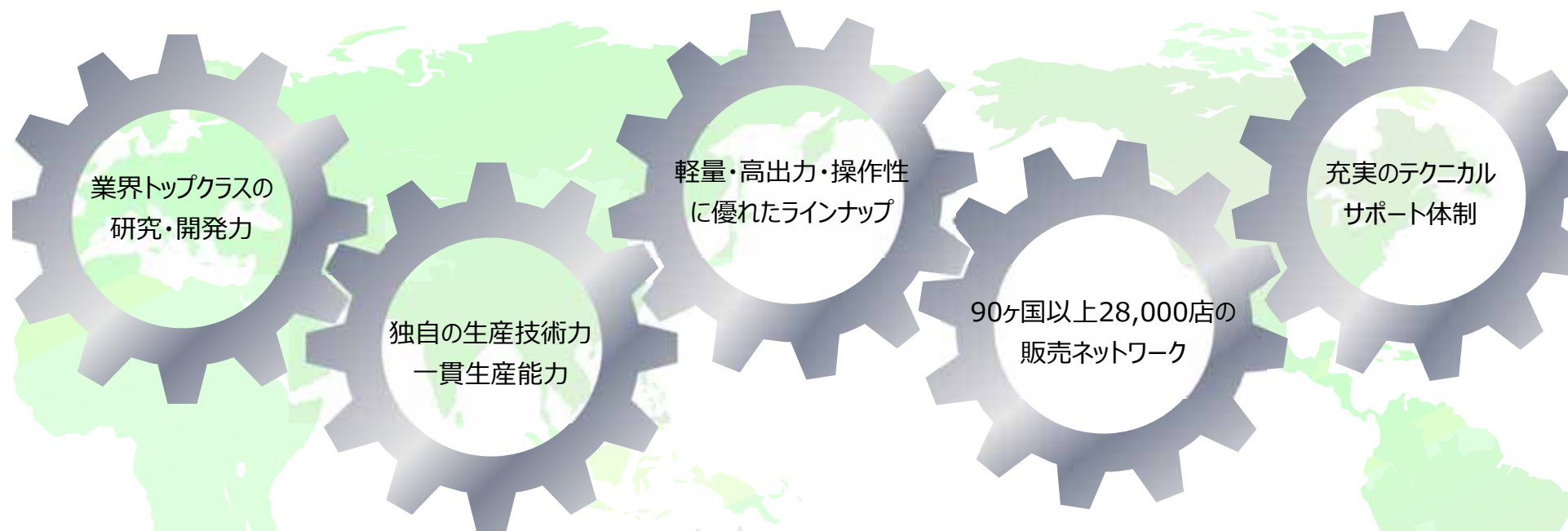
出荷実績



注：会員企業の入退会に伴い、2014年4月より報告会社数が変更。(防除機：7社→6社、刈払機：11社→12社)
(一社) 日本農業機械工業会出荷実績

(一社) 日本陸用内燃機関協会携帯発電機研究会集計 (3kVA以下)

“グローバル”での“高い競争力”を実現



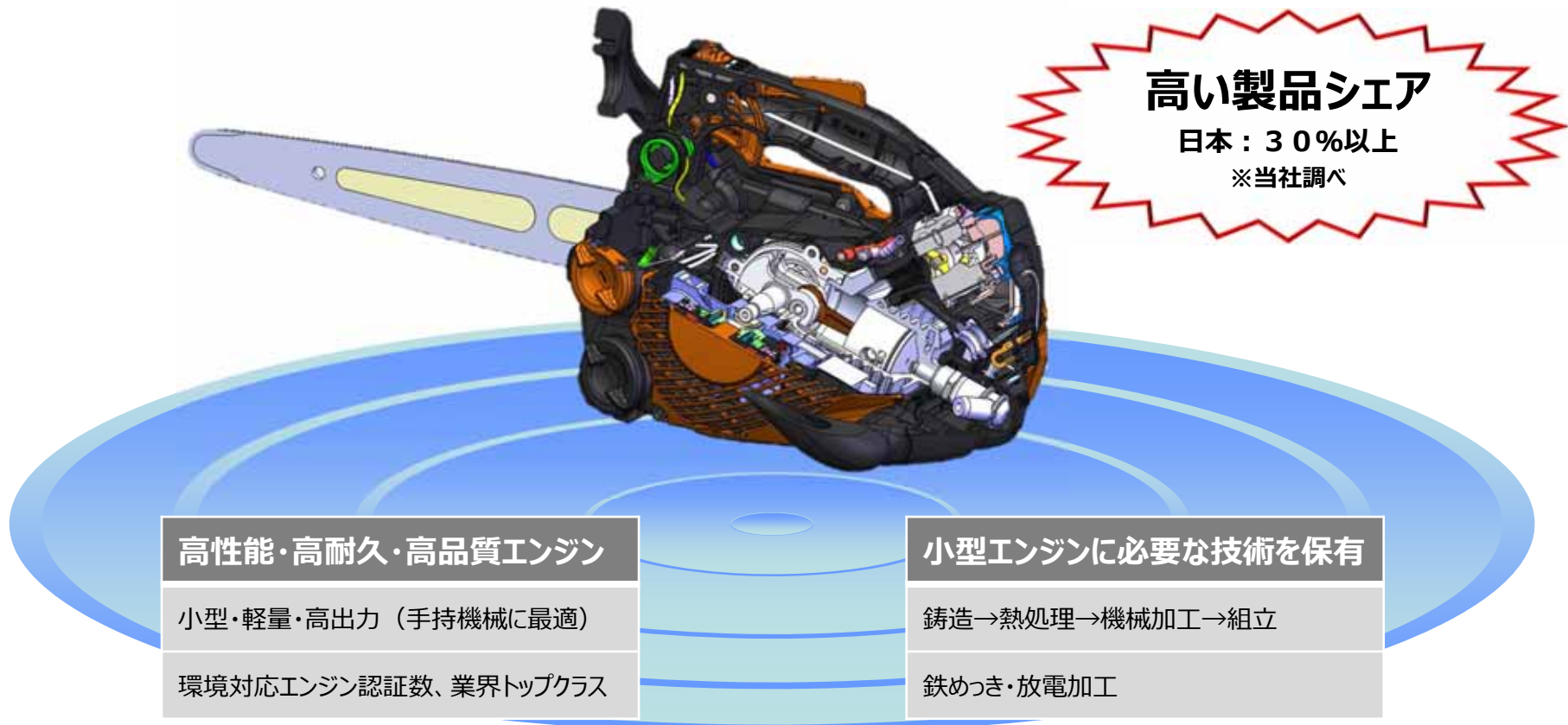
小型屋外作業機械と農業用管理機械を展開する国内ブランド

小型屋外作業機械と一般産業用機械を展開するグローバルブランド

小型屋外作業機械と農業用管理機械を展開するグローバルブランド

技術的な強み 小型エンジンの開発力・生産力（一貫生産体制）

世界最高レベルのエンジン開発力



※Outdoor Power Equipment

【3つの事業】 2. 農業用管理機械

技術的な強み 培った防除技術にICTを融合し、スマート農業を実現

送風技術

噴霧技術

散布技術

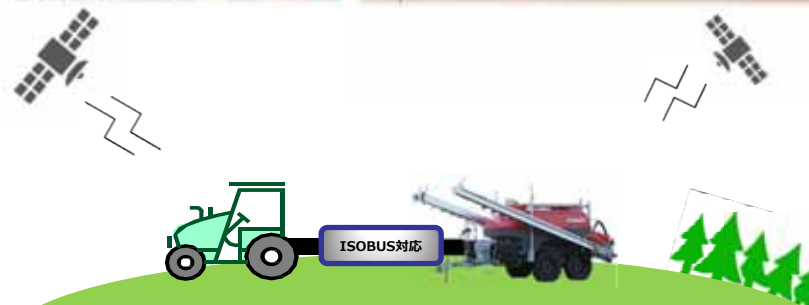
- ・水田、畑作、果樹、施設栽培などあらゆる栽培体系において均一散布を実現
- ・低騒音・大風量を実現する送風システムを開発。
- ・農薬飛散を低減させるやまびこノズルの自社開発

やまびこノズルの噴霧状態（扇形状）
（平均粒子径 110～270 ミクロン）



ICT

- ・世界標準の通信技術（ISOBUS）を用いて、トラクタと相互通信
- ・全球測位衛星システム（GNSS）により圃場内に適正な量の農薬を適正な場所にムダなく散布
- ・設定した圃場の形状に合わせて散布エリアを自動制御する世界初の技術



【3つの事業】 3. 一般産業用機械



世界初の三相/単相3線
切替なし同時出力可能
(米国特許・国内特許取得済み)



ディーゼルエンジン発電機



ディーゼルエンジン溶接機



「ダブルECO」
低燃費・騒音排出ガス効果に優れた
2つのエコ機能の開発

● 生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造（鋳造・金属処理・機械加工・組立 等）

● 生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造（機械加工・塗装・組立 等）
防除機の製造（板金・塗装・組立 等）
※ 防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産本部広島事業所

小型屋外作業機械の製造（機械加工・組立等）
発電機・溶接機・電動工具の製造（組立 等）
※ 発電機等の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産関連子会社

追浜工業株式会社（横須賀市）：電装部品
双伸工業株式会社（青梅市）：樹脂部品
株式会社ニューテック（長野市）：鋳造部品
やまびこエンジニアリング株式会社（安芸高田市）：板金加工

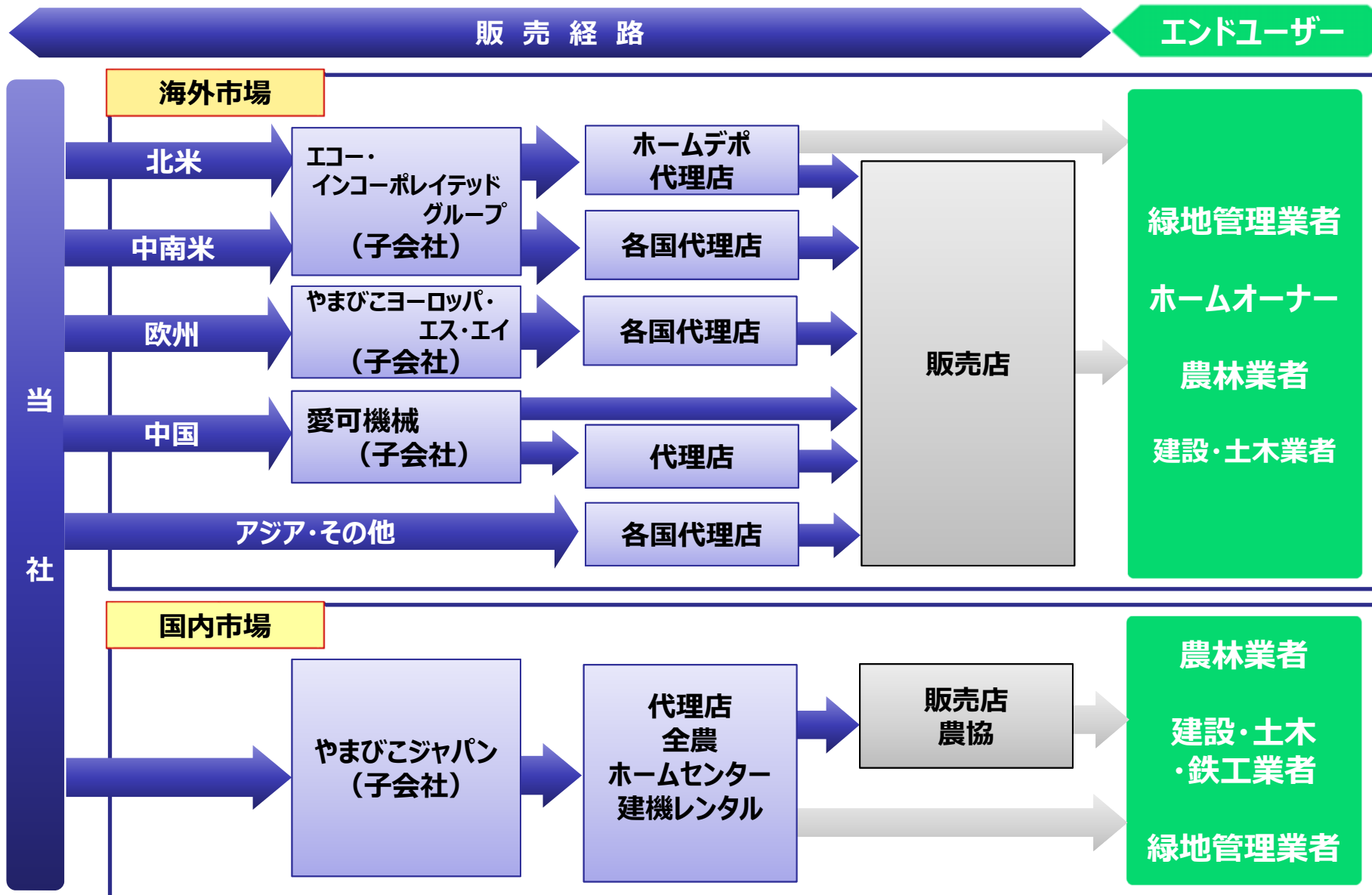


海外生産体制

- **エコー・インコーポレイテッド（アメリカ イリノイ州）**
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **クレイリー・インダストリーズ（アメリカ ノースダコタ州）**
チップーシュレッダー・大型農業機械等の製造
- **クイック・プロダクツ・インク（アメリカ アリゾナ州）**
当社製品のスペアパーツ等の製造
- **やまびこヨーロッパ・エス・エイ（ベルギー ブラバン・ワロン州）**
ロボット芝刈機の製造
- **愛可機械（深圳）有限公司（中華人民共和国 広東省）**
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **蘇州山彦農機有限公司（中華人民共和国 江蘇省）**
農業用管理機械の製造 ※搭載用エンジンは他メーカーから調達、一部部品は当社国内工場から支給
- **新大華機械股份有限公司（台湾 台中市）**
小型屋外作業機械の部品仕入
- **やまびこベトナム（ベトナム ビンズン省）**
一般産業用機械の部品製造



主な販売経路

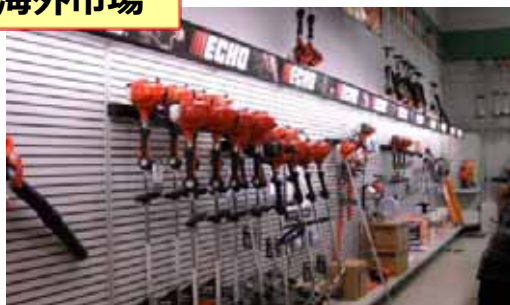


販売経路

エンドユーザー

販売店

海外市場



海外における販売店ではプロユーザーを意識した高付加価値製品群を取りそろえて対面販売。



ホームセンターにおいてはハイエンドホームユーザー向け品揃えする。

海外市場

緑地管理業者

ホームオーナー

農林業者

建設・土木業者

国内市場



販売店や代理店と協力しながら展示会を実施し、実演や試乗を通じて販売。



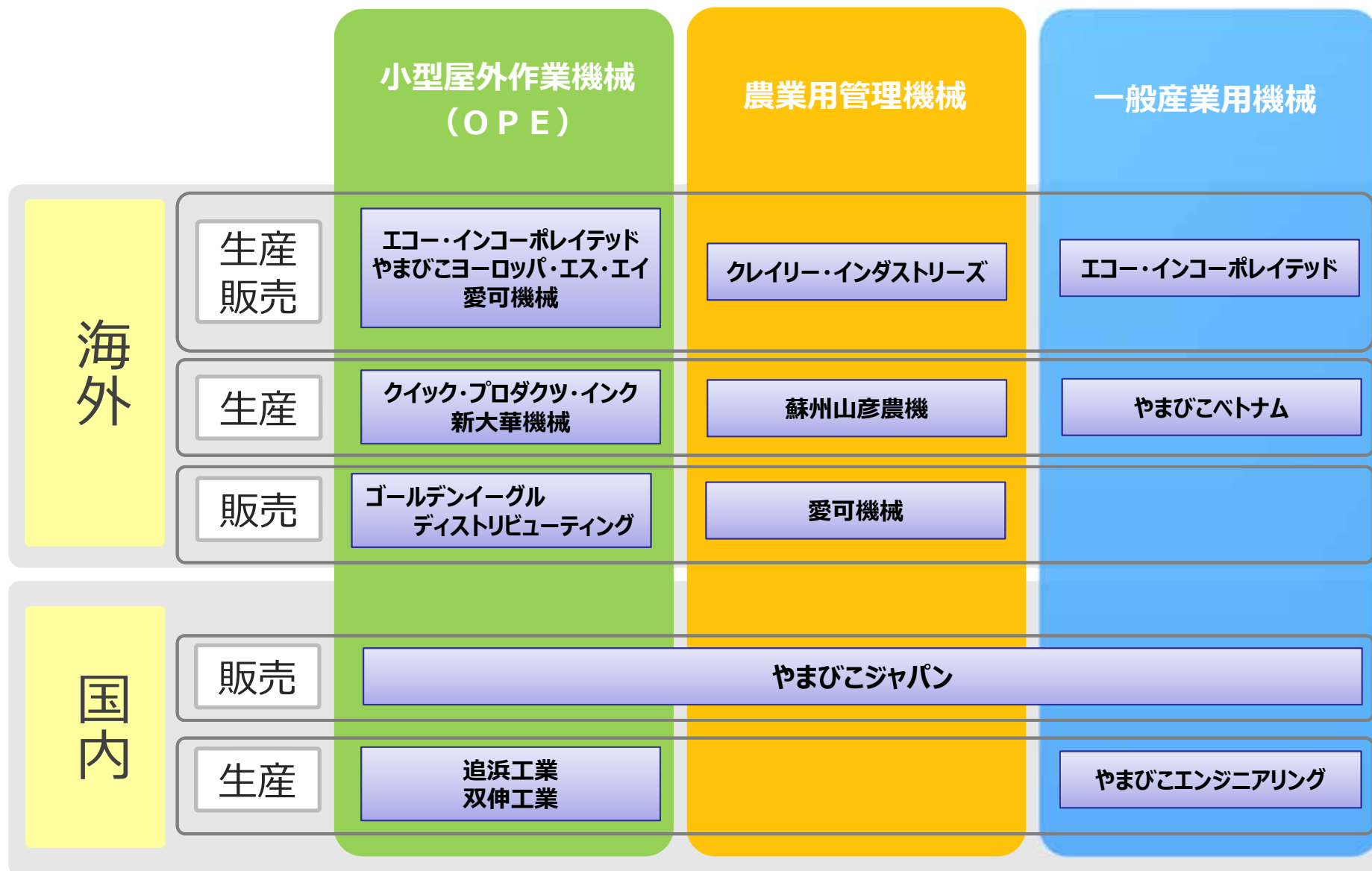
国内市場

農林業家

緑地管理業者

建設・土木
・鉄工業者

主なグループ会社の状況（2020年12月31日現在）



人と自然と 未来をつなぐ

私たちやまびこグループは、事業の発展を通じて、
世界中の自然環境と、共に歩む全ての人の
美しい未来をつくる、そんな企業を目指します。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社やまびこ

経営企画室

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2
TEL : 0428-32-6111 FAX : 0428-32-6143
e-mail : ir6250@yamabiko-corp.co.jp